

令和 3 年度
第 4 回公共施設等検討委員会

令和 4 年 2 月 2 1 日

議論の流れについて

今後のあり方検討方法

機能面での整理

施設の有する機能について、存続の必要性を検討

残すべき・残した方がいい

残さなくてもよい

機能移転先施設の有無を検討

機能は停止、施設廃止を主に検討

機能移転先施設有

機能移転先施設無

機能は移転、施設廃止を主に検討

施設存続しつつ運用等で最適化を主に検討



施設面での整理

施設に係る今後必要な費用等を考慮し最終的な建物の存続・廃止の検討を行う

前回までの委員会内容について

機能の整理について

いきいき元気館

現在施設に有する機能	委員会における機能の 必要性に対する主な意見
地域活動支援センター「のぞみ舎」	・市内で同様の機能の施設があり現施設での継続の必要性は低い。
適応指導教室「こだま」	・場所的にも便利なので、この建物で継続していけるとよい。 ・機能はどこかに残す必要がある。 ・今後の需要も考えると拡充の検討も必要。 ・機能の性質上、他機能と共用は難しい、専用で使用できる場所が必要。
各種団体の貸事務所	・施設がなくても民間の貸事務所等で十分対応できると思う。 ・民間で借りるという意見もあるが、難しい団体もあるので団体と相談しながら進めてほしい。

前回までの委員会内容について

機能の整理について

老人福祉センター

現在施設に有する機能	委員会における機能の 必要性に対する主な意見
入浴施設としての機能	<ul style="list-style-type: none">・独居の高齢者等は楽しみにしている人もいるので、そのような方も考慮する必要があるのでは。・羽島温泉の利用等により今より不便になる部分も考えられるが我慢が必要ではないか。
生活相談及び健康相談に関する機能	—
教養講座の実施	<ul style="list-style-type: none">・老人クラブの加入率が減っている。クラブの活動も高齢者のニーズの細分化により変化してきている途中であり、2～3年現施設を存続させ様子を見てもいいのではないか。
サークル活動の利用	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティセンター等、複数の場所で行った方が今の高齢者の活動に合うのではないか。
老人クラブの支援	<ul style="list-style-type: none">・コミュニティセンター等の場所を代替とした場合、費用負担が利用者にかかるが、施設維持コストを勘案すると利用料の補助等の支援で解決する発想をした方が良い。・ソフト面を工夫すれば、建物は減るけどサービスは良くする「縮充」という発想になれる。

機能の必要性の検討について（まとめ）

前回までの議論を踏まえた各機能の方向性について

いきいき元気館

現在施設に有する機能	方向性
地域活動支援センター 「のぞみ舎」	既存のサービスを活用（需要の充足が可能）。
適応指導教室「こだま」	機能はどこかに残す必要がある。
各種団体の貸事務所	民間施設や市所有施設で空きスペースがあれば団体と相談。

老人福祉センター

現在施設に有する機能	方向性
入浴施設としての機能	—
生活相談及び健康相談に関する機能	—
教養講座の実施	各コミュニティセンター、中央公民館、市民会館等の場所を活用し、継続実施。ソフト面において、細分化してきている高齢者の活動にあった運用を検討する。
サークル活動の利用	
老人クラブの支援	

機能の必要性の検討について（まとめ）

同様の機能を持つ施設について

いきいき元気館

現在施設に有する機能	市内公共施設で同様の機能を持つ施設
地域活動支援センター「のぞみ舎」	福祉サポートセンター。
適応指導教室「こだま」	なし。
各種団体の貸事務所	公共に限らず民間の貸事務所等も有。

老人福祉センター

現在施設に有する機能	市内公共施設で同様の機能を持つ施設
入浴施設としての機能	老人福祉センター羽島温泉。
生活相談及び健康相談に関する機能	老人福祉センター羽島温泉、市民総合相談室等。
教養講座の実施	各コミュニティセンター、中央公民館、市民会館、市民活用スペース等の場所を活用が可能。
サークル活動の利用	
老人クラブの支援	



方向性で機能を残す必要があるとご意見があり、市内公共施設に同様機能を持つ施設がない適応指導教室「こだま」について、移転先施設を考える

機能の移転先候補施設について

移転先の検討にあたって

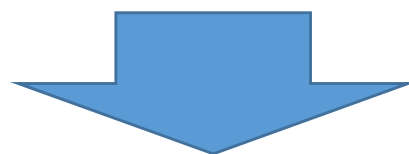
現在の市の財政状況等を考慮すると、新設での施設整備は厳しい状況。



既存施設にて複合化を検討

委員会でいただいた意見を踏まえ

- ・立地の便利さ
- ・専有で利用できるか



移転先の一つの案として
福祉ふれあい会館2階が考えられる

機能の移転先候補施設の概要

福祉ふれあい会館 概要

建築年 : 平成16年 (建築後17年経過)
構造 : 鉄筋コン造 (耐用年数50年)
延床面積 : 2,701.31㎡ (2階 : 591.9㎡)

状況

2階について、下記貸館実施

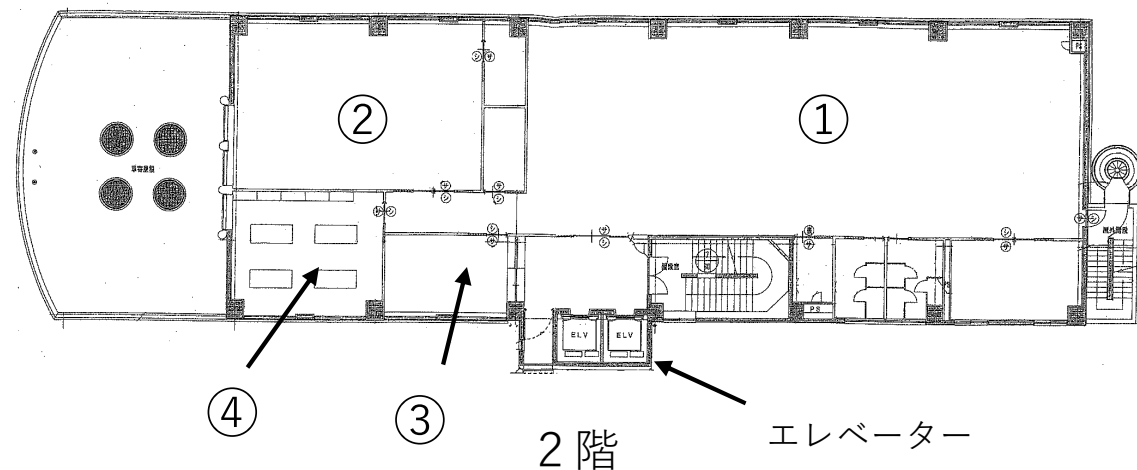
- ・地域ふれあいスペース (294㎡) ①
- ・コミュニケーションルーム (100.8㎡) ②
- ・ボランティアルーム (28.7㎡) ③
- ・調理室 (43.4㎡) ④

各貸室について、利用率が低い状況
(令和元年度)

- ・地域ふれあいスペース (15%)
- ・コミュニケーションルーム (21%)
- ・ボランティアルーム (16%)
- ・調理室 (4%)

課題事項

- ・既存の貸館利用者への影響



機能の移転先候補施設の概要

各施設所要見込み費用・状況の比較表

比較項目	いきいき元気館	福祉ふれあい会館2階
管理費用	指定管理 年間約1,190万円 (こだまの運営費用は約200万程度を見込み)	指定管理 (隣接する市民会館と一体で委託。こだまを移転することで、指定管理料への影響が考えられる)
修繕等費用	長寿命化により令和35年度まで施設の耐用年数を延長する場合、令和12年度までに2億9,400万円の長寿命化改修が必要な見込み	こだまが移転することで修繕費用の増減見込みなし
移転に要する経費	—	調理室の調理台撤去費用